

地球環境の保護

当行は、地域環境を保護するために、さまざまな取組みを行っています。大量に使用する伝票や封筒、印刷物についての再生紙の利用や処分文書の再生処理など日常的な環境負荷の逡減にも留意しています。

また、環境保護関連などの社会貢献活動に積極的な企業向けに金利や私募債発行手数料を優遇した融資商品や、投資信託販売商品への環境ファンド組入れなど、環境に配慮した金融商品も提供しています。さらに平成20年9～10月には、宮城県の環境保全政策「わたしのe行動（eco do!）宣言」と連携した環境配慮型定期預金「<七十七>e定期預金」の取扱いを、平成21年1月からは環境に配慮した住宅の取得をサポートする「住宅ローン環境サポートキャンペーン」の取扱いを行いました。

平成20年6月から9月、地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」や「仙台・みやぎクールビズ宣言2008」に賛同し、電力使用量の削減による二酸化炭素排出削減に一層の貢献を行うため、「夏の軽装勤務（クールビズ）」も実施しています。

また平成20年10月には、「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」の実施時期にあわせ、創業130周年記念事業の一環として仙台市中心部や県内の観光地等合計7カ所で清掃活動を行う「七十七クリーンアップ運動」を実施しました。

社会福祉への貢献

「小さな親切」運動

当行は、「小さな親切」運動宮城県本部の設立以来、33年にわたりその活動の事務局を務めており、企画・運営に携わっています。主な活動は以下のとおりです。

「クリーンキャンペーン」への参加

平成20年8月、当行から約50名（会員企業合計約240名）が参加して仙台市内中心部を3コースに分かれて清掃し、社会的モラルの向上をPRしました。



車椅子の寄贈

毎年、運動本部（東京）から車椅子の提供を受け、県内の社会福祉施設に寄贈しています。当行は事務局として、寄贈先の選定や贈呈式の運営を行っています。

社会福祉施設等の慰問

毎年、県内の老人保健施設等を訪問し、唄や踊り、津軽三味線等演芸を披露するなど、施設の方々とともに和やかなひとときを過ごしています。

愛の募金会

「七十七愛の募金会」は当行がこれまで地域社会から受けてきたご支援への感謝を表すため、平成6年に社会福祉事業・施設等への寄付を目的として当行役職員により設立されました。平成20年度は、24団体に総額340万円の寄付を行いました。



ピンクリボンフェスティバルへの協賛

当行は、乳がん対策の重要性を訴えるピンクリボン活動の社会的な意義を踏まえ、地域での乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の重要性を伝えるため、昨年度に引き続き平成20年度も「ピンクリボンフェスティバル2008」に協賛企業として参加するなど積極的な支援を行っています。

七十七交通安全協力会

当行は、交通安全運動の推進とその支援・協力を行う「七十七交通安全協力会」を組織しています。

同協力会では、交通安全意識高揚の一助となるよう、昭和44年から毎年、宮城県内の新入学児童全員に「交通安全下敷」を寄贈しており、平成20年度新入学児童向けとして本年も宮城県内全ての小学校に合計約2万4千枚を贈呈しました。

献血キャンペーン等による血液事業への協力

当行では創業130周年記念事業の一つとして、平成20年7月から企業献血「創業130周年記念七十七献血キャンペーン」を実施しました。今回のキャンペーンでは、宮城県赤十字血液センターの協力を受け、県内延べ35カ所に移動採血車が巡回し、行員ならびに行員家族1,200名が献血に協力しました。

今回初めて献血を行った行員も多く、本キャンペーンにより献血の重要性の理解が深まったほか、社会貢献活動への参加意識をより高める契機ともなりました。当行では、今後も定期的な企業献血を実施し、広く社会に貢献してまいります。



地域との交流

地域行事への参加、協賛

宮城県では、仙台七夕まつりをはじめさまざまな地域行事が開催されています。平成20年度は、どんと祭、仙台青葉まつりなど、6つのお祭りに約430名の当行役員が参加しました。さらに各営業店では、営業地域内のお祭りへの参加や七夕飾りの出展、所属商工会を通じた地域行事への参画など、地域の皆さまとの交流を図っています。

また、当行は県内各地のお祭り等さまざまな地域行事へ積極的に協賛しています。



どんと祭

七十七銀行金融資料館

七十七銀行金融資料館は当行の創業120周年を記念し、地域の皆さまの長年のご愛顧への感謝をこめ開設しました。お金の歴史と役割、銀行の誕生と発展、宮城県や日本の産業経済等をわかりやすく紹介しており、平成20年度は約1,700名のお客さまにご来館いただきました。平日の午前9時から午後3時までの開館です。



「<七十七>キッズサマースクール」の開催

金銭に対する健全な価値観を養成する金融教育およびものづくりへの関心を涵養する情操教育を行うことを通じて、地域への社会貢献を推進する観点から、平成20年7月から8月にかけて「<七十七>キッズサマースクール」と題し、地域の小学生を対象とした「金融教室」、「ものづくり教室」を開催しました。



スポーツの振興

当行は、仙台市で開催される「市民マラソンin仙台」、「仙台国際ハーフマラソン」の両大会に協賛しています。スタッフジャケットやゼッケンを提供しているほか、交通規制看板の設置などに協力しています。

地元プロスポーツチームを通じたスポーツ振興

当行は、サッカーJリーグ/ベガルタ仙台と、プロ野球パシフィックリーグ/東北楽天ゴールデンイーグルス、およびバスケットボールbjリーグ/仙台89ERSのオフィシャルスポンサーとして地元チームの活動を応援し、地域のスポーツ振興に貢献しています。また、より多くのお客さまに地元プロスポーツに親しんでいただくため総合口座通帳およびICキャッシュカードに上記3チームのキャラクターデザインを採用しています。



企業スポーツとしての大会参加

当行運動部の主な戦績は以下のとおりです。

硬式野球部

- ・第79回都市対抗野球大会 出場
- ・第35回社会人野球日本選手権大会 出場

陸上競技部

- ・第50回東日本実業団陸上競技選手権大会
男子やり投げ 第1位(2連覇)
女子400mハードル 第2、3、4位入賞
女子400m 第2、3、6位入賞
女子400mリレー 第2位
- ・第92回日本陸上競技選手権大会
男子やり投げ 第3位
- ・第56回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会
男子やり投げ 第2位
女子400mハードル 第3、4、8位入賞
女子400m 第3、6位入賞
女子400mリレー 第2位

ほか

バドミントン部

- ・第51回全日本社会人選手権大会
女子シングルス 第2位
女子ダブルス 第5位
混合ダブルス 第3位
 - ・全日本総合バドミントン選手権大会
女子ダブルス 第5位
混合ダブルス 第5位
- ほか



小中高生に対する技術指導等

役職員が組織している運動部は、記録会や技術指導教室の開催など、地域の小中学生や高校生に直接指導を行うことで、地域との交流を図るとともに、スポーツ技術の向上に寄与しています。

硬式野球部

平成20年12月、八戸市で開催された野球教室に監督が講師として参加し、高校生に技術指導を実施したほか、平成21年1月にも、山形県高校野球技術強化講習会に招かれ、指導者や選手約80名に技術指導を実施しました。

陸上競技部

平成20年6月、地域社会との交流や地域の陸上競技の競技力向上を目的として「第2回七十七銀行陸上競技記録会チャレンジ2008」を開催しました。当日は宮城県内の中高生や一般の選手を中心に、約1,200名が参加しました。また、「小学生陸上クリニック」への参加や各地区の高体連強化練習会への参加など、日々の活動において、随時実技指導、合同練習などを行っています。

バドミントン部

毎週火曜・木曜日に仙台市内体育館にてジュニア指導を実施しているほか、その他にも随時、県内各地で合同練習会を実施しています。また、平成20年6月には、スポーツを通じた生涯学習啓蒙の一環として仙台市内の中学校で、生徒および父兄を対象とした講演会および模範試合を実施しました。

文化活動の後援

「東北大学への寄附講座」の開設

平成20年4月、地域経済の発展と人材育成に資する教育研究を通じて、地域社会への貢献を図るため、地域の経済金融に関する教育研究をテーマとした寄附講座を開設しました。

寄附講座の概要

開設部局：国立大学法人東北大学大学院経済学研究科
講座名称：地域経済金融論（七十七銀行）寄附講座
期間：平成20年4月1日～平成22年3月31日
大学院授業：「地域経済論」「地域金融論」を開設

公演・展覧会への協賛

当行では、地域の文化振興に貢献するため、多くの文化活動等への協賛を行っています。平成20年度は「第52回全東北ピアノコンクール」や「国際親善交流特別演奏会」、「第45回宮城県芸術祭」をはじめ数多くの文化・スポーツ活動への協賛を行いました。

「七十七ふれあいコンサート」の開催

「七十七ふれあいコンサート」は、地域の小・中学生の皆さまに仙台フィルハーモニー管弦楽団の迫力ある生のオーケストラ演奏に接する機会を提供することを目的に、平成4年度から継続して開催しているコンサートです。

平成20年度は、11月に通算40回目となるコンサートを宮城県大崎市田尻で地域の中学生約300名を招待し、楽器の解説等を交えながら生演奏を楽しんでいただきました。

「七十七スターライトシンフォニー」の開催

当行の芸術文化振興活動の一環として、また仙台冬の風物詩“SENDAI光のページェント”の参加企画として、平成3年から毎年開催しているコンサートです。

毎回、オーケストラの演奏をバックに著名なアーティストが出演しており、平成20年12月には「海援隊with庄野真代スペシャルハーモニー演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団」と題し、地域の皆さまにお楽しみいただきました。

今回は、当行の創業130周年記念事業の一つとして、例年よりもご招待者を400名増やし、抽選で合計2,000名の地域の皆さまをお招きしたほか、児童養護施設の方々もお招きしました。また、広く社会福祉に役立てていただけるよう、会場ロビーにおいてチャリティー募金も実施しました。